



新・みやぎ・シー・メール第27号

発行：令和元年10月1日

宮城県水産技術総合センター 〒986-2135 宮城県石巻市渡波字袖ノ浜 97-6

TEL: 0225-24-0159 FAX: 0225-97-3444

震災後のアサリ資源造成の取り組み

養殖生産チーム

干潟の造成

松島湾や万石浦では東日本大震災による地盤沈下等で多くの干潟が消失したため、漁場環境の悪化や漁場生産力の低下、アサリ漁業を始めとした漁業生産への影響が懸念されています。このため、県では国の「水産環境整備事業」を活用し、被災した干潟の復旧整備を行ってきました（表1）。水産技術総合センターでは、造成した干潟のアサリ分布密度、幼生の発生状況の調査を行い、漁場の復旧状況を把握すると共に効率的な天然採苗方法を明らかにすることを目的として天然採苗試験を実施しました。

表1 造成干潟一覧

海域	漁場	完成時期	面積(m ²)
万石浦	梨木畑	2014年2月一部完成	38,421
		2015年3月一部完成	
		2016年8月完成	
万石浦	沢田	2014年3月一部完成	28,266
		2015年8月完成	
		2015年3月完成	
松島湾	名籠	2014年6月完成	6,710
	馬放島	2014年9月完成	8,490
	野々島	2015年8月完成	8,100
	九ノ島	2017年7月完成	20,799
	磯崎	2017年7月完成	5,602
	梅ヶ浜	2017年7月完成	6,306
	蛤浜	2017年7月一部完成	8,314
	波津々浦	2018年3月完成	4,000
	内裡島	2018年3月完成	5,000

アサリ生息密度調査

万石浦、松島湾では、干潟造成前の2012、2013年の時点で最大1万個/m²を超える幼生が発生していました。これらの海域の造成干潟のうち、2014年2月に一部完成した万石浦の干潟では、2015年に調査点1、2で4,000個体/m²を超えるアサリが確認されました。これらのアサリは2017年には3cmを超えるサイズとなり、7年ぶりに漁獲が再開されました。2018年は最大でも1,500個体/m²であ

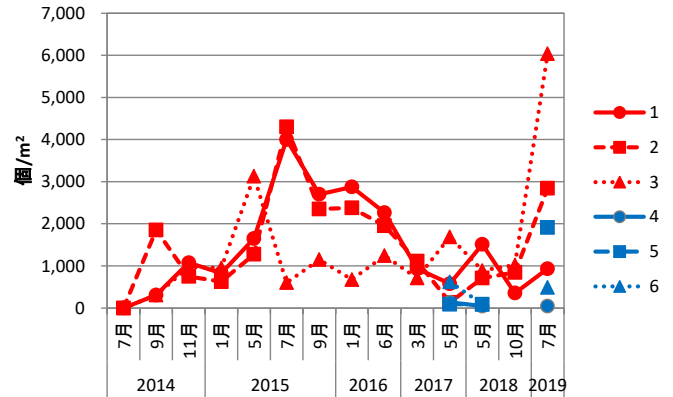


図1 万石浦造成干潟のアサリ生息密度の推移

り、減少傾向にありましたが、2019年は調査点3で6,000個体/m²以上のアサリが確認されました（図1）。この他、2015年以前に完成した万石浦の2漁場、松島湾の3漁場で同様の調査を継続して実施しており、2017年以降に完成した干潟についても、順次調査を開始しています。

天然採苗試験

また、天然採苗した稚貝を適地に放流する効率的な手法を検討するため、天然採苗試験を行いました（図2）。その結果、網袋を用いた試験では、目の細かい網を用いた方がアサリのサイズは小さいが、採苗効率が良いことが分かりました。また、人工芝も採苗器として有効であることが確認されました。

これらの結果は、随時成果発表会や生産者向け研修会等で報告し、アサリの増殖や資源管理に役立てていく予定です。



図2 天然採苗試験

宮城県水産技術総合センター

ホームページ URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>